

## 1. 地域資源を活用した地域ブランド化戦略を

全国各地の市町村では、特色ある地域づくりをめざし、それぞれの地域が活力を高め、その地域において財政基盤の強化を進めている。その一環として、農林水産業の生産地、地域独自の観光地、産業集積地、伝統工芸品生産地など地域特性を活用した商品づくりやまちづくりで地域ブランド化を確立することにより、地域の活性化を図ろうとする取り組みが盛んである。

本町においても、地域資源を活用した地域ブランド化事業への取り組みを推進しており、弥一芋、酒田錦等、大手ショッピングセンター、イベントでのPR、販売等により多くの町民にも開成町の特産品として広く認知されてきた。

本町にはまだまだ有形無形の活用可能な資源が多く存在していると考ええる。新たな特産品開発も含め、今後の取り組みやブランド化戦略などについて次の事項を問う。

- ① 地域ブランド化の現状と課題について調査・研究は行っているか。
- ② 特産品と位置づけられている物について対外的な認知度は上がってきているのか。また、その生産、販売状況は現在どうなっているのか。
- ③ 農業の6次産業化の進捗は。
- ④ 本町単体でなく、足柄上地区の地域資源を組み合わせた特産品開発の工夫を。
- ⑤ 販売チャンネルの開発は。